幼稚園再整備計画 答弁:

公立幼稚 再整備計 圃

吉田

後適切に着手してまいりたいと考え公立幼稚園再整備計画に沿って、今

備 洪水に

災害時要援護者名簿の登録が円滑な 避難支援のために不可欠であること

実に努めてまいりたいと考えており

制度の周知を図り、名簿の充

されていない高齢者や介 おります。 5千400人が登録して 災害時要援護者制度に約 者です。加須市全体では を見ると災害時の要援護 てしまう方は、災害の例 災害時に逃げ遅れ しかし、登録 ます。 まいりたいと考えており 続して制度の周知を図 認識しており、今後も継 のために不可欠であると の登録が円滑な避難支援 また、地域防災計画に 名簿の充実に努めて

します。 ての指導についてお伺い 施設における避難に向け え及び介護施設や障害者 難支援対策についての考 る洪水災害時における避 や災害時要援護者に対す な課題として、災害弱者 以上になります。具体的 護認定者を含めると2倍 利用施設については、 位置付けられた要援護者 もに、策定・実施に当 への取り組みを促すとと の策定と避難訓練の実施 現在各施設に対し、計画 と改正になることから、 施が努力義務から義務へ 設管理者等による避難確 保計画の策定、 訓練の実

が、現状は増築して園自

いう結果がでています の検査では問題がないと しているものの、耐力度

この計画によりまして、

画を検討いたしました。

今後適切に着手してまい

は建替えを行う計画で

るを得ないということ

の方向性を多少は変えざ 問題等から考えて、従来

で、公立幼稚園再整備計

両園とも50年を経過

野に入れ検討し、騎西中

園は認定こども園化を視 です。また、志多見幼稚 化大規模改修を行うもの

> み事であります。しか えていくかは、大きな悩

し、現在の子どもの数の

し、樋遣川幼稚園を耐震

域に公立幼稚園があると

いうことではなく、各地 けを統廃合すればいいと 進めていくかは、数字だ

いう過去の伝統をどう考

計画では、13園中、8園が

央幼稚園、騎西南幼稚園

ところであります。 や避難誘導を進めている 基づき計画的な情報提供 とから、タイムラインに 定の予測が可能であるこ 福祉部長 災害時要援護者名簿 洪水災害は一 その

> りながら、避難体制の充 設と一層の連携強化を図 おります。今後も福祉施

> > します。

実に努めてまいりたいと

存じます。

思いますので、

か考えをお伺いします。

設の再整備をどう

るところでございます。

ついては十分承知してい ており、再整備の必要性に も、現地を何回も視察し 思います。いずれにして をご理解いただきたいと

幼稚園行政の中

画の実現に向けていくの

かにスピードをもって計 あります。この2園をい でも濡れてしまう状況で れば移動するとき弱い風 体が狭く、廊下は雨が降

弁できる段階でないこと

たっては助言等を行って

どうするか、具体的に答 が、現時点でいつ、どこを りたいと考えております

要援護者

の避難

康寿命の 市全体で健康寿命

延

まな取組みを展開し、埼玉一今後も市民との協働により、 寿命のまちの実現に向け、努力して まいりたいと考えております。 埼玉一の健康 ちまざ

標値まではいま一つであ上昇しているものの、目 るなどさまざまな手法で の取組みにより、よく知 康器具メーカーのタニタ の結果、徐々に受診率は 取り組んでおります。そ のために、個別に通知す がん検診等の受診率向上 ると思います。 大きく影響することは健 健康管理に職場の力が 市では特定健診や じて望ましい食育の推進 の方との協力にも配慮 度を健康寿命元年と位置 等に取り組んでまいりた し、さまざまな機会を通 企業等の健康づくり担当 ております。市民の皆様 まざまな取組みを展開し のまちの実現に向け、さ 市長 市では、平成24年 いと考えております。 にもこれらの取組みに参 付け、埼玉一の健康寿命

等との連携も、 取り組みについてお伺い で取り組むことを提案 業者の協力を得て市全体 くりの意識啓発に市内事 率の向上、食育等健康づ られておりますが、検診 康づくりに有効であると 健康医療部長 し、併せて課題と今後の 市民の健 市内企業 してまいりたいと考えて り、埼玉一の健康寿命の 健康への関心を高めなが るところでございます。 加していただくことで、 まちの実現に向け、 てきていると認識してい る」という考えが定着し 「自分の健康は自分で守 今後においても市民の 市民との協働によ

-10-